

博多港コンテナ物流トライアル推進事業

令和6年度(2024年度)



トライアル輸送に係る費用

支援内容

最大100万円

(※海上運賃、国内輸送費用、輸出入手続き、通関費用など)

募集数

6事業程度(予定)

- ・コストやリードタイムの削減
- ・複数ルート確保によるリスクの分散
- ・モーダルシフトによる環境負荷低減
- ・2024年問題への対応...

対象者

荷主・物流事業者・日本海側フィーダー利用事業者

(※輸送関連情報の提供及びヒアリング調査への協力、事業結果の活用への同意が条件となります。)

事業の流れ(予定)

募集期間

令和6年10月～
令和7年3月末日

審査

事業決定

1期 令和6年12月末
2期 令和7年 3月末

計画書

輸送期間

令和6年10月～
令和7年9月末

報告書

支払

⇒応募条件などの詳細は裏面をご確認ください。

【お問合せ先／各種提出先】

■「博多港コンテナ物流トライアル推進事業 事務局」

株式会社地域開発研究所 担当:角(か)

〒110-0015 東京都台東区東上野2-7-6 東上野T・Iビル

TEL:03-3831-2917 FAX:03-3836-4048 E-mail:hakata-trial@rdco.co.jp

■事業主体:博多港ふ頭株式会社 担当:総務企画部営業課(新原(にい原))

応募条件など

対象事業	① 博多港を利用した 新たな物流ルート であること ② 博多港の 国際海上コンテナ(香椎CT/ICCT)の利用貨物 であること ③ 博多港の利用により 物流の改善・機能向上 が見込まれること (コスト・リードタイム削減、環境負荷低減、BCP対応等) ④ 博多港の本格利用後のコンテナ取扱量が、 年間25TEU以上 見込まれること
輸送回数	令和6年10月(事業参加決定以降) ~ 令和7年9月末 の期間中 5回まで
重点事業	ア 輸出貨物に関する事業 イ 東南アジア方面(台湾・ベトナム・タイ等)の貨物に関する事業 ウ 物流の複線化(緊急輸送ルートの確保等)に関する事業 エ 2024年問題(モーダルシフトの推進)に関する事業 オ 日本海側フィーダー航路利用に関する事業 *重点事業に該当する事業は 年間25TEUに満たない場合も対象 とする
応募方法	参加申請の書類(参加申請書)を提出していただきます。(郵送またはE-mail) 募集要項や参加申請書は、今後「博多港ふ頭株」HPに記載予定。 https://hakatako-futo.co.jp/ ※申請事業の物流内容等を審査させて頂いた結果、不採用となることもございます。 (審査内容については非公開となります)

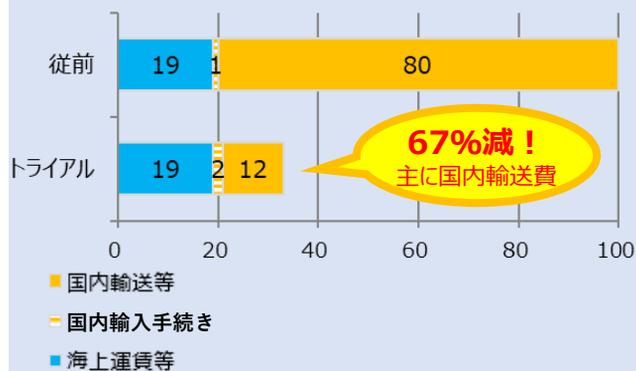
～本事業を活用して物流改善に成功した事例を紹介します～

輸入 ベトナムからの生活雑貨

★九州納入分の貨物を阪神港揚げから、博多港揚げにすることにより、国内ドレージ費用が縮小



輸送コストの比較 (従前を100とする)



輸出 台湾への食品

★九州工場での増産に伴い、出荷港を生産工場の近郊にすることで国内輸送距離を低減



輸送コストの比較 (従前を100とする)

